

白神自然環境研究所教授会議事要旨

日 時：平成29年1月31日（火）9時00分～10時12分

場 所：コラボ弘大8階 八甲田ホール（Cホール）

出席者：檜垣所長、石川副所長、殿内、大高、東、中村、丹波、松山、石田、山岸

欠席者：本多、荒井、上條（いずれも委任状提出）

事 務：小田桐、成田、肥後

議事に先立ち、所長から、12月27日開催の教授会議事要旨（案）の確認が行われ、承認された。

【審議事項】

1 平成28年度事業計画について

所長から、資料1に基づき、平成28年度事業計画について、11月定例教授会からの変更点（1月に予定していたセミナーを中止する）を中心に提案説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

関連して、所長から、白神岳に設置しているフラックスタワーの超音波風速計の修繕費の一部、及び研究所分室で使用している走査型電子顕微鏡の修繕費を、研究所の予算から支出することの説明があり、異議なく承認された。

2 平成29年度事業計画及び予算要求について

所長及び副所長から、資料2に基づき、平成29年度事業計画及び予算要求について、概略次のとおり提案説明があった。

(1) 事業計画の枠組みは今年度と同様に継続し、モニタリング事業に係るひろだい白神レーダーの補修整備費及び延辺大学との連携のための出張旅費、研究紀要等出版事業に係る新青森植物目録の出版費など新規計上するものもあるが、事業費全体で昨年度の要求額より250万円程度削減する計画となっている。

(2) 学長決定の平成29年度予算作成方針によると、本学の運営費交付金等の状況及び第3期中期目標期間の財務見通しを踏まえ、財務健全化計画を11月までに策定すること、支出予算の上限枠を示すシーリング制度導入等、予算作成制度の改革を行うことなどが明示された。なお、重点施策の中に平成30年度の研究所の再編に向けた準備を行うことなども記載されている。

引き続き、所長から、学長からの依頼に応じた平成29年度の部局予算要求書等を作成すること、提出にあたっては所長に一任することが諮られ、異議なく承認された。

3 附置研究所見直しに係る白神自然環境研究所の農学生命科学部への移行について

所長及び副所長から、資料3に基づき、附置研究所見直しに係る白神自然環境研究所の農学生命科学部への移行に向けた研究所の意向について説明があり、概略次のとおり意見交換が行われた。

(1) 移行後は兼任担当教員ではなく協力教員として各部門の研究活動に協力願うこととなる。なお、事業実施のための経費配分は可能である。

(2) ひろだい白神レーダーについては、平成29年度中に可能な範囲で補修し、活用の目処がついた時点で理工学研究科に管理換えを提案したい。農学生命科学部では扱えない機器である。

(3) 事務職員の配置については、ワーキンググループにおいて移行後の組織体制と業務量を勘案して、農学生命科学部側から必要な人員を提案願うよう進める予定である。

(4) 自然情報室の移転場所も含めたスペースの問題を早期に検討しなければならない。
学長の考えと、所掌する理事や部局等の考えが一致している訳ではなく、情報収集しながら個別に協議したい。

なお、本件は継続審議とし、次回以降の教授会においても引き続き検討を進めていくこと、次回のワーキンググループから兼任担当教員（2名）も参加することが確認された。

【報告事項】

1 所長報告

所長から、資料4に基づき、概略次のとおり報告があった。

(1) 企画戦略会議

① 理事（総務担当）から、平成29年度弘前大学の概算要求結果及び予算作成方針について説明があった。

(2) 教育研究評議会

① 教職大学院の設置に伴う中期計画の変更について承認された。

② 平成29年度競争的資金申請の基本方針について承認された。

2 東北森林管理局との協定の方向性について

所長から、東北森林管理局との協定について、研究所の農学生命科学部への移行後に締結する方向で改めて内容を検討することの報告があった。

3 その他

(1) 観察園の利用について

専任担当教員から、2月7日に西目屋小学校が環境省事業である自然体験プログラムを実施するため、附属白神自然観察園の利用申請があったことの報告があった。

以 上

次回以降開催予定

平成29年2月28日（火）9時00分～10時15分

平成29年3月28日（火）9時00分～10時15分